

ART project

GEIBUN オープンエアミュージアム in 環水公園 2015年度の取り組み

富山大学芸術文化学部准教授 渡邊 雅志



「伸びるカタチ」

「道しるべ ← → Side trip」

趣旨

富山県と富山大学は、「富山県と国立大学法人富山大学との連携に関する協定書」により連携協力を行っています。その一環として、富山大学芸術文化学部の学生および教員の作品を、富山県の代表的な公園である富岩運河環水公園に展示する「GEIBUNオープンエアミュージアム in 環水公園」を2010年より開催しています。富岩運河環水公園を利用される多くの市民の方々に、豊かな緑あふれる公園の中で芸術文化学部の作品に触れる機会を提供し、公共空間に現れた様々な作品を通じて、日常にある驚きや楽しさ、そして喜びを実体感していただきたいと考えています。この取り組みが、芸術文化が社会や環境そして人々に豊かな創造性を伝え、日常生活に潤いを与える力があることに気がつき、今後の富山の新しい魅力として繋がっていくことを願っています。

2015年度の取り組み

開催日：2015年9月12日（土）～10月11日（日）

会場：富岩運河環水公園

主催：富山大学芸術文化学部 後援：富山県

出品数：野外展示27点、屋内展示23点の計50点

出展作品

「カラフルシートプロジェクト」

本展では会場で作品を公開制作するオープニングイベントが恒例になっています。作品が出来上がっていくさまを来園者に見ていただくことで、作家の思考や制作プロセスを間近で感じていただく企画です。作者と鑑賞者、作品と公園の関係を出来るだけ柔らかく結ぶことを意識しています。今回は新作「カラフルシートプロジェクト」。カラーシートをつなぎ合わせ、風にたなびくカラフルなストライプを公園に作ります。作品の下をくぐって遊ぶことの出来る遊具的な要素もある作品でしたが、あいにくの雨模様となり、遊具としての公開は中止となりました。江越知比呂、平澤紗英、稲場美里、村上晶太、渡邊雅志（芸術文化学部准教授）

「伸びるカタチ」

後藤敏伸（芸術文化学部教授）

「道しるべ ← → Side trip」

齊藤晴之（芸術文化学部教授）

「表出 一気孔態」 「表出 一Press」

中村滝雄（芸術文化学部教授）

「環境造形（立体）」

上不大輝、森崎湧斗、森山円、畦地拓海、江越知比呂

「ショーケースプロジェクト」

透明なアクリルケースに入れられた作品が展望塔の中にちりばめられています。

稲場美里、梅沢友希、加納萌子、関西奈緒、佐藤ゆき、重田郁美、西村彩花、能村奈央、長谷川桃子、水野千佳子、吉備津和真、井澤郁子、御旅屋宏輝、浜屋友美

「HAPPINESS BIRD PROJECT」

園内にバードカービングで制作された架空の鳥を設置し地図を片手に散策しながら発見する作品。展望塔内には鳥のかたちのカードに自由に鳥の柄を描いてもらうブースも設置。集まった鳥のカードは700枚。

学生有志、渡邊雅志（芸術文化学部准教授）

「金魚と錦鯉」

学生有志、渡邊雅志（芸術文化学部准教授）

ワークショップ

会期中の週末には公園内でワークショップを開催しています。園内に設置されている作品を鑑賞することの他に、来園者自ら作品をつくる体験を提供する事で、よりアートやデザインに関心を持つことに繋がり、思い出としても本展の印象を持ち帰っていただきたいというねらいがあります。



「表出 - 気孔態 -」



「ショーケースプロジェクト」



「トルソ」



「HAPPINESS BIRD PROJECT」

「夢りんごプロジェクト」

りんごの絵馬に夢を描き公園の木に結びます。会期中に150枚の絵馬が描かれ、来園者は木に“生る”りんごに描かれた様々な願い事を読む（見る）ことができます。Art for all（芸術文化学部アートイベントサークル）、渡邊雅志（芸術文化学部准教授）



「夢りんごプロジェクト」願いが実る（叶う）ように願いを込めて

「ナイトミュージアム」

夜の公園で行われた1夜限定の作品。展望塔の外部壁面に映写し、多くの来園者が普段と違う様子に興味を抱き足をとめて鑑賞していた。

指導は西島治樹芸術文化学部講師（現准教授）。

佐藤弘隆、三井穂波、山口加帆里



「ナイトミュージアム」夜の公園に突然現れた映像作品

「木っばでキーホルダー」

木っば（木片）やどんぐり、貝殻、木の枝などでキーホルダーを作ります。自然豊かな公園でのワークショップなので自然素材が材料です。

Art for all（芸術文化学部アートイベントサークル）



「木っばでキーホルダー」みんな熱中して制作しています

「似顔絵バッジ」

芸術文化学部の学生が似顔絵を描き、すぐにバッジに仕立ててその場でプレゼントします。世界にひとつだけのバッジが目の前で出来上がる即興性は、どこかマジックに似た驚きと楽しさがあります。

黒田有美、児玉由香、中谷幸菜



「似顔絵バッジ」似てるー！と元気な声があがります



「カラフルシートプロジェクト」くぐって遊べる遊具の様な作品